



107th CRC Seminar

村上 聡 教授

東京工業大学・大学院生命理工学研究科

「薬剤排出トランスポーターの結晶構造と
機能解析」

時間：2017年5月12日（金）13:45～15:15

場所：総合教育研究棟 1F 遠隔講義室
（生命系スペース C）

村上教授は、大阪大学に助教として在籍中に世界初となる薬剤排出トランスポーターAcrBの結晶構造を決定しました。それを公開したNatureの論文は世界的に大きな反響を呼びました。

最近、村上教授は別のタイプの薬剤排出トランスポーターの結晶構造を決定することに成功しております。今回のセミナーでは、細菌が薬剤耐性となる主因の一つである多剤排出トランスポーターの結晶構造解析から見えてきたグラム陰性細菌の細胞外への物質輸送についてご講演いただきます。

（問合先：寒冷バイオ・西山 nishiyam@iwate-u.ac.jp）